

平成 29 年度～令和 3 年度
第 2 次男女共同参画計画（改訂版）推進状況

基本目標 1 社会における意思決定への女性の参画拡大

働く場、地域活動等の意思決定の場に女性が参画できるよう、積極的改善措置（ポジティブ・アクション）を念頭においた取組等を進め、男女が共に暮らしやすい社会の実現を図ります。また、女性の活躍推進やワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む事業所を認定し、女性の活躍推進を図ります。

【主な取り組み】

市において、審議会委員や管理職への女性の積極的な登用に努めるとともに、将来指導的立場につく職員の育成に取り組んでいます。市内事業所に対しては、働きやすい職場づくり推進事業所認定制度を実施し、女性の活躍推進に関する取組の推進を図っています。

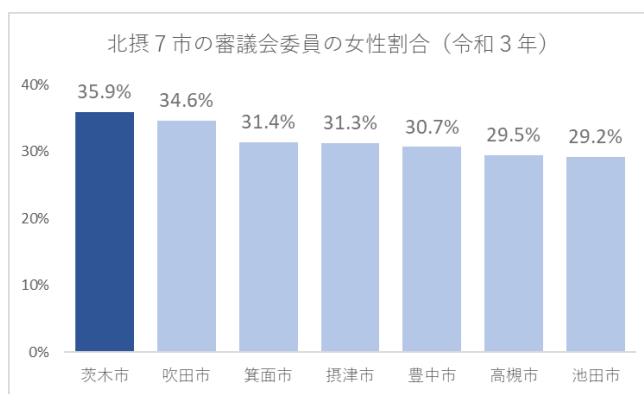
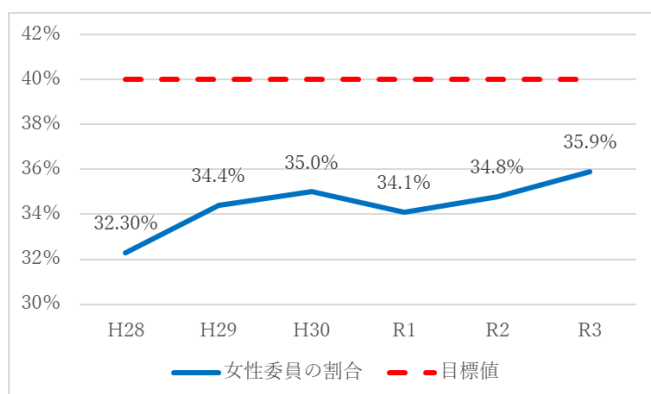
【推進状況】

<計画推進の指標>

	指標名	計画策定時	現状値 (R3)	目標値 (R3)
1	市の審議会等における女性委員の割合	32.3% (2016.4.1)	35.9%	40%

<指標 1 の推進状況>

計画策定時 (H28)	平成 29 年度	平成 30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
32.3%	34.4%	35.0%	34.1%	34.8%	35.9%



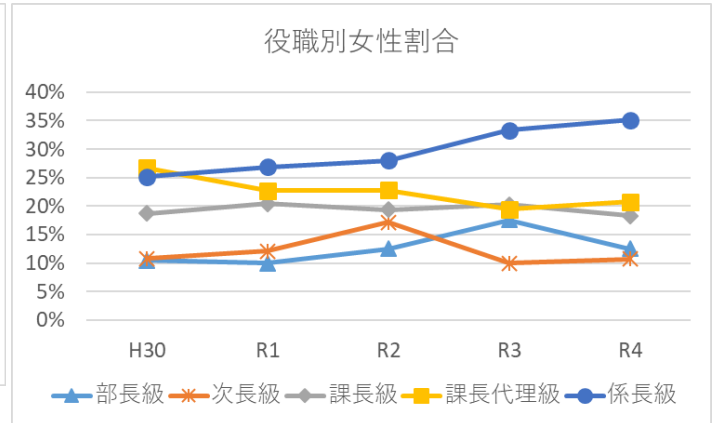
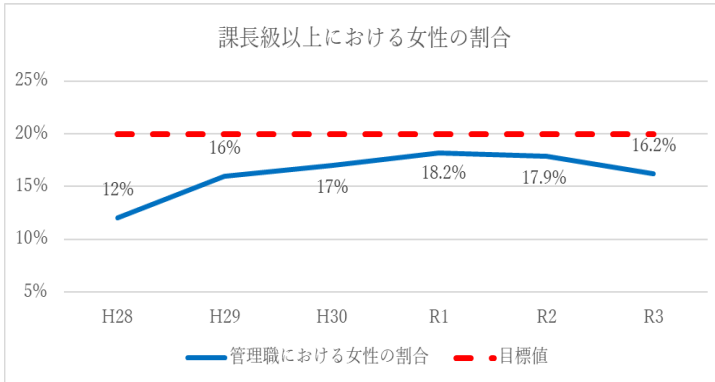
堺市（39.5%）に次いで、茨木市は府内で2番目の高さ

<計画推進の指標>

	指標名	計画策定時	現状値 (R3)	目標値 (R3)
2	市の管理職（課長級以上）における女性の割合	12% (2016. 4. 1)	16.2%	20%

<指標2の推進状況>

計画策定時 (H28)	平成 29 年度	平成 30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
12%	16%	17%	18.2%	17.9%	16.2%

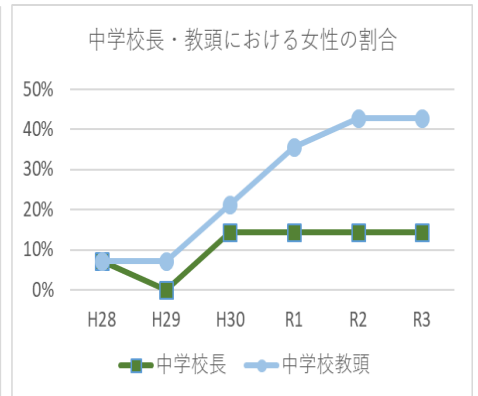
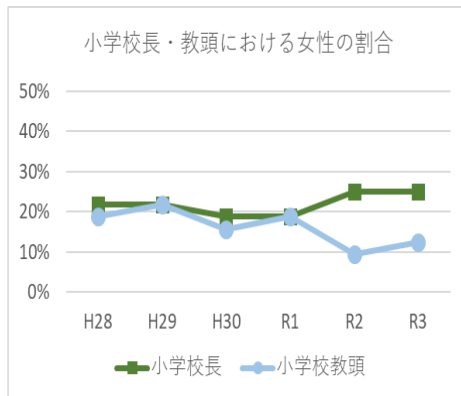
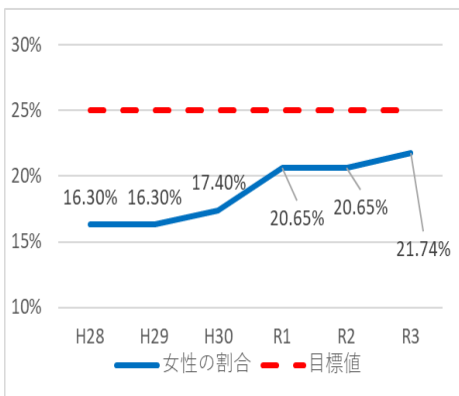


<計画推進の指標>

	指標名	計画策定時	現状値 (R3)	目標値 (R3)
3	市立小・中学校長・教頭における女性の割合	16.3% (2016. 4. 1)	21.74%	25%

<指標3の推進状況>

計画策定時 (H28)	平成 29 年度	平成 30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
16.3%	16.3%	17.40%	20.65%	20.65%	21.74%



基本目標2 働く場における男女平等

男女が共に能力を発揮し活躍できるよう、セクシュアル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメントなどのない、男女が共に働き続けやすい職場づくりの意義について、事業所に働きかけます。また、広報啓発活動や研修等を通して、どのような働き方を選んでも適正な雇用条件が確保されるよう支援をします。

【主な取り組み】

広報誌・ホームページ等を活用して市内事業所に対する情報提供や啓発を実施するほか、起業者や事業主を対象とした補助制度等を実施し、多様な働き方の実現に向けて取り組んでいます。

【推進状況】

<計画推進の指標>

	指標名	計画策定時	現状値	目標値 (H28)
4	賃金や待遇で「男女が平等になっている」と感じている人の割合	女性 10.3% 男性 21.2% (市民意識調査)	女性 10.9% 男性 19.6% (市民意識調査)	女性 40% 男性 50%

基本目標 3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

働きたい女性が、仕事と子育て等の両立ができる、あるいは、出産しても働き続けられるよう、そして、男性が家事や育児、趣味、地域活動に参画できるよう、多様な働き方・生き方が選択できる社会づくりを進めます。そのために、市内事業所や市民に対して、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の意義や働き方の見直しについて働きかけると同時に、子育てや介護などの支援を推進します。

【主な取り組み】

男女がともに仕事と育児、介護などを両立できる環境の整備をすすめるとともに、男性対象の料理教室やパパ&ママ教室（両親教室）など、男性が家庭生活に参画するための情報提供や学習機会の提供をしています。

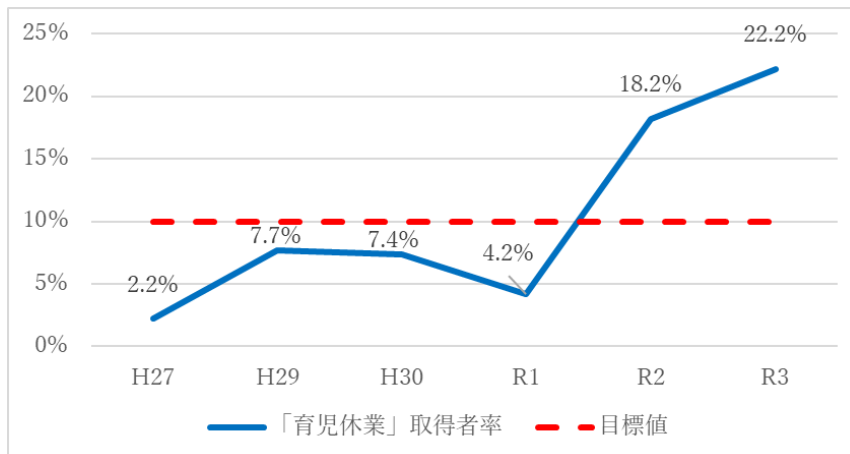
【推進状況】

<計画推進の指標>

	指標名	計画策定時	現状値	目標値 (R3)
5	「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」という言葉を知っている・聞いたことがある人の割合	女性 38.8% 男性 46.4% (市民意識調査)	女性 53.8% 男性 62.2% (市民意識調査)	50%以上
6	「仕事」「家庭や地域活動」「個人の生活」など、現実と希望が一致した暮らし方をしている人の割合	女性 38.5% 男性 37.2% (市民意識調査)	女性 48.4% 男性 53.2% (市民意識調査)	女性 70% 男性 70%
7	市における男性職員の「育児休業」取得者率	2.2% (2015年)	22.2%	10%

<指標 7 の推進状況>

計画策定時 (H27)	平成 29 年度	平成 30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
2.2%	7.7%	7.4%	4.2%	18.2%	22.2%

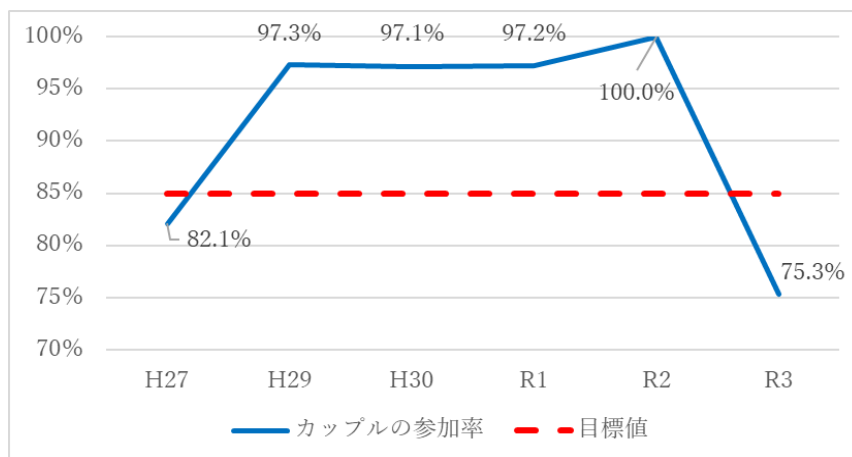


<計画推進の指標>

	指標名	計画策定時	現状値	目標値 (R3)
8	パパ&ママクラスのカップルの参加率	82.1% (2015年)	75.3%	85%

<指標8の推進状況>

計画策定時 (H27)	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度	R3年度
82.1%	97.3%	97.1%	97.2%	100.0%	75.3%



基本目標 4 生涯を通じた男女のこころとからだの健康支援

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）を踏まえ、男女が互いの身体的性差を十分理解し合い、相手に対する思いやりを持てるよう情報提供や学習機会の充実を図ります。また、性的マイノリティ、性の多様性についての理解を深める取組を推進します。

【主な取り組み】

女性の健康増進のため、女性特有の乳がん・子宮がん検診の受診の促進に努めています。また、自身の健康管理を適切に行えるよう、自身のからだや健康に関する講座等を開催しているほか、子どもの成長段階を踏まえた思春期教育を行っています。性的マイノリティ支援の取組みとして、電話相談やコミュニティスペースの開設、性の多様性についての啓発冊子の作成等も行っています。

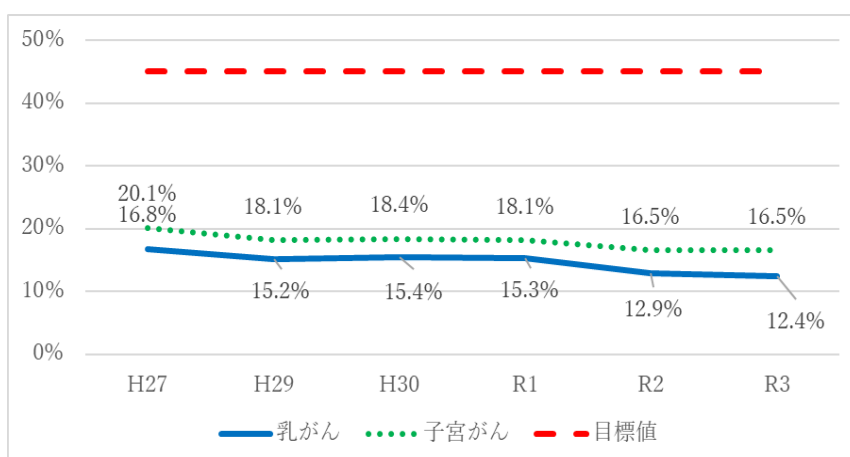
【推進状況】

<計画推進の指標>

	指標名	計画策定時	現状値	目標値（H28）
9	乳がん・子宮がん検診受診率	乳がん 16.8% 子宮がん 20.1% (2015年)	乳がん 12.4% 子宮がん 16.5%	乳がん 45% 子宮がん 45%

<指標9の推進状況>

計画策定時 (H27)	平成 29 年度	平成 30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
乳がん 16.8% 子宮がん 20.1%	乳がん 15.2% 子宮がん 18.1%	乳がん 15.4% 子宮がん 18.4%	乳がん 15.3% 子宮がん 18.1%	乳がん 12.9% 子宮がん 16.5%	乳がん 12.4% 子宮がん 16.5%



基本目標5 女性に対する暴力の根絶

配偶者等からの暴力（DV）やセクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為、性犯罪等は重大な人権侵害であり、男女共同参画社会を形成する上で克服すべき重要な課題です。人権意識を高め、あらゆる暴力を許さない社会をつくるため、広報啓発活動や相談体制等の充実を図ります。茨木市配偶者暴力相談支援センターを中心に、相談、安全の確保、自立支援と切れ目のない支援を充実します。また、若年層に向けて、デートDVの予防教育、相談を充実します。

【主な取り組み】

市民に身近なDV相談機関として、茨木市配偶者暴力相談支援センターを設置し、関係機関と連携しながら、相談、安全の確保、自立支援などを実施しています。また、暴力を許さない社会風土の醸成を図るため、暴力防止啓発講座や若年層を対象としたデートDV予防啓発ワークショップを開催しています。

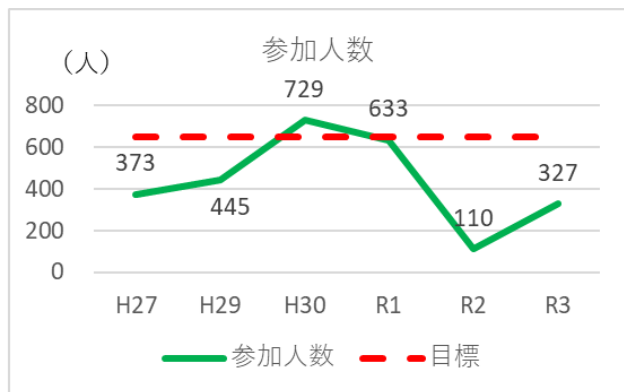
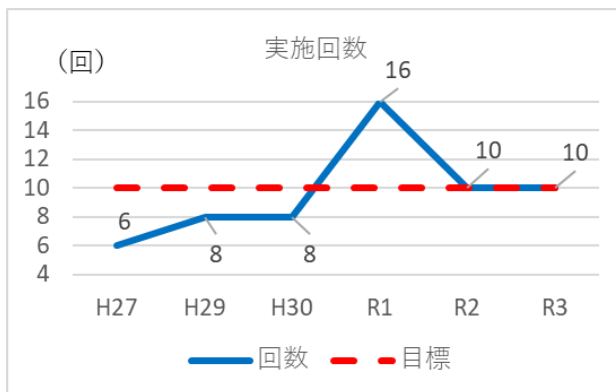
【推進状況】

<計画推進の指標>

	指標名	計画策定時	現状値	目標値（R3）
10	「デートDV」という言葉を「よく知っている・聞いたことがある人」の割合	女性 35.5% 男性 29.5% (市民意識調査)	女性 59.1% 男性 51.2% (市民意識調査)	女性 75% 男性 75%
11	女性に対する暴力防止の啓発や講座の実施回数と参加人数	6回/年、 373人 (2015年)	10回/327人	10回/年 650人

<指標11の推進状況>

計画策定時 (H27)	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度	R3年度
6回/年、 373人	8回/年 445人	8回/729人	16回/633人	10回/110人	10回/327人

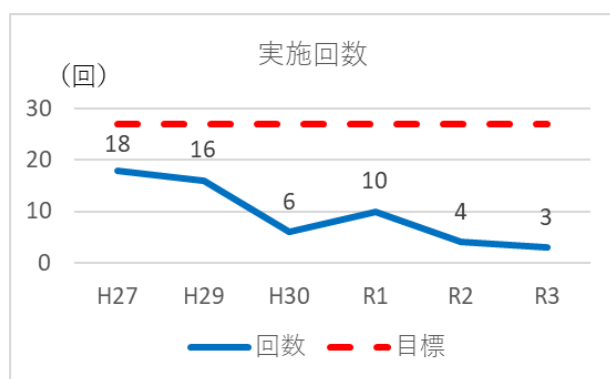


<計画推進の指標>

	指標名	計画策定時	現状値	目標値 (R3)
12	子ども・若者へのデートDV防止啓発や講座の実施回数と参加人数	18回/年、3,956人 (2015年)	3回/3,440人	27回/年 6,000人

<指標 12 の推進状況>

計画策定時 (H27)	平成 29 年度	平成 30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
18回/年、 3,956人	16回/年 2,721人	6回/3,670人	10回/4,080人	4回/3,530人	3回/3,440人



基本目標6 だれもが安心して暮らせる社会づくり

人口の減少、少子高齢化、経済状況の悪化により、高齢者や障害者、ひとり親家庭、在住外国人女性等の中に、様々な困難を抱える人が増えています。子どもから高齢者まで、だれもが安心して暮らせる地域社会を築くため、男女共同参画の視点を踏まえた子育てや介護の取組を進めます。また、防災・復興等の地域の課題は、男女が協力して、主体的に解決していけるよう、地域力を高めていきます。

【主な取り組み】

だれもが安心して暮らせる地域社会を築くため、高齢者施策・障害者施策・外国人施策・子育て施策などの充実を図っています。

また、防災分野での男女共同参画を促進するため、自主防災組織の女性リーダーの育成を推進しています。

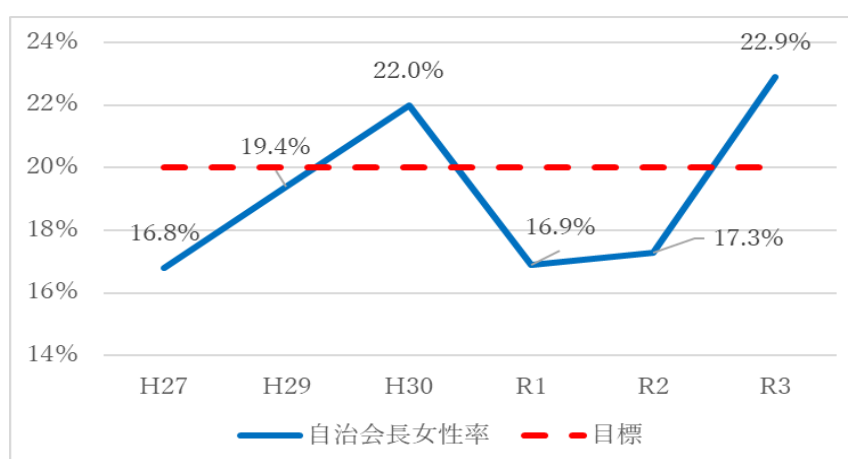
【推進状況】

<計画推進の指標>

	指標名	計画策定時	現状値	目標値 (R3)
13	自治会長における女性の割合	16.8% (2015年)	22.9%	20%

<指標13の推進状況>

計画策定時 (H27)	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度	R3年度
16.8%	19.4%	22.0%	16.9%	17.3%	22.9%

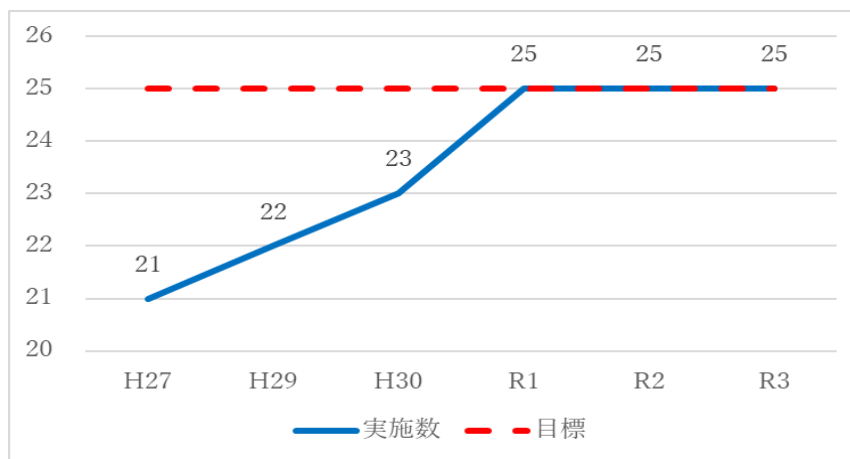


<計画推進の指標>

	指標名	計画策定時	現状値	目標値 (R3)
14	地域子育て支援拠点事業の実施数	21 か所	25 か所	25 か所

<指標 14 の推進状況>

計画策定時 (H27)	平成 29 年度	平成 30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
21 か所	22 か所	23 か所	25 か所	25 か所	25 か所

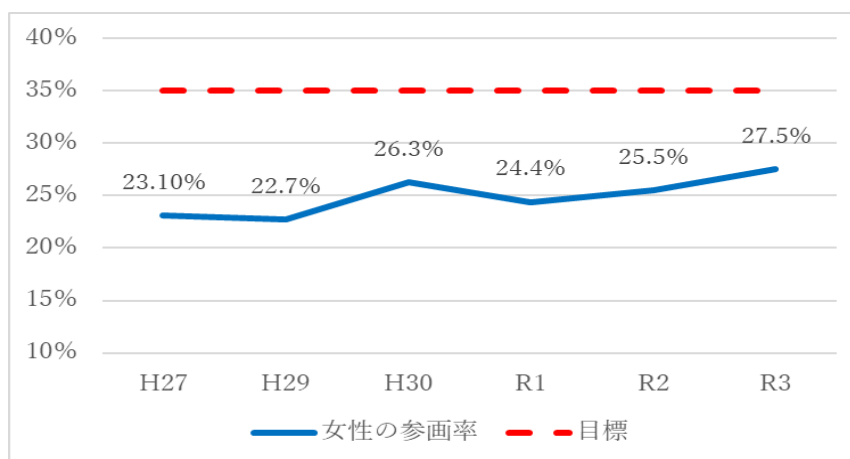


<計画推進の指標>

	指標名	計画策定時	現状値	目標値 (R3)
15	自主防災組織の方針決定過程への女性の参画率	23.1%	27.5%	35%

<指標 15 の推進状況>

計画策定時 (H27)	平成 29 年度	平成 30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
23.1%	22.7%	26.3%	24.4%	25.5%	27.5%



基本目標 7 男女共同参画についての理解の促進

「女性だから、男性だから」と性別で役割を固定するのではなく、あらゆる人々が自分らしい生き方を選択できるよう、男女平等や男女共同参画の重要性について理解を深めるための施策を進めます。

【主な取り組み】

毎年6月の男女共同参画週間に合わせて、「男女共同参画週間記念講演会」を開催するなど、さまざまな機会をとらえて、男女共同参画に関する情報の提供や発信、講座・研修等を実施しています。

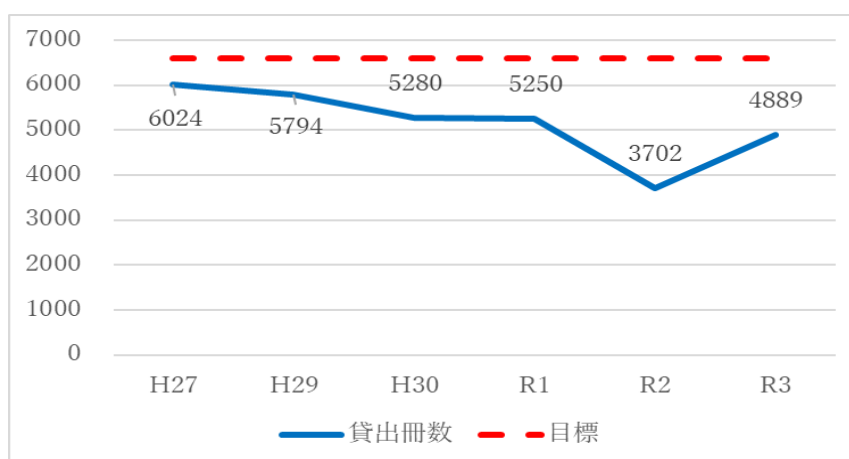
【推進状況】

<計画推進の指標>

	指標名	計画策定時	現状値	目標値 (R3)
16	「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担の考え方に「反対・どちらかといえば反対」という人の割合	女性 49.3% 男性 39.1% (市民意識調査)	女性 61.4% 男性 56.0% (市民意識調査)	女性 75% 男性 55%
17	社会の慣習やしきたりで「男女が平等」と感じている人の割合	女性 9.4% 男性 18.9% (市民意識調査)	女性 10.0% 男性 13.8% (市民意識調査)	女性 40% 男性 50%
18	自治会などの地域活動で「男女が平等」と感じている人の割合	女性 43.0% 男性 51.0% (市民意識調査)	女性 42.2% 男性 55.5% (市民意識調査)	女性 65% 男性 70%
19	ローズWAMの男女共同参画に関する図書等の貸出冊数	6,024 冊 (2015年)	4889 冊	6,600 冊

<指標 19 の推進状況>

計画策定時 (H27)	平成 29 年度	平成 30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
6,024 冊	5,794 冊	5280 冊	5250 冊	3702 冊	4889 冊



基本目標 8 男女共同参画を進める教育と学習の推進

子どもたちが、性別に基づく役割を固定した考え方にしぼられることのないよう、学校や地域、家庭において男女平等について学べる機会を提供します。また、働くことの意義と重要性を理解し、子ども一人ひとりの個性や能力が活かせる将来の人生設計が描けるようなキャリア教育を進めます。また、「男らしさ」を背景とした男性ゆえの生きづらさを解消し、自分らしい生き方が選択できるよう、啓発活動や学習機会の提供等を行います。

【主な取り組み】

男女平等観を形成する教育や保育を推進するとともに、男性にとっての男女共同参画の意義の理解を促進するため、男性が家事や育児、介護などに参画するための情報や学習機会の提供を行っています。また、女子児童の理工系分野への興味を喚起するための「理工チャレンジ（リコチャレ）」の講座等を実施しています。

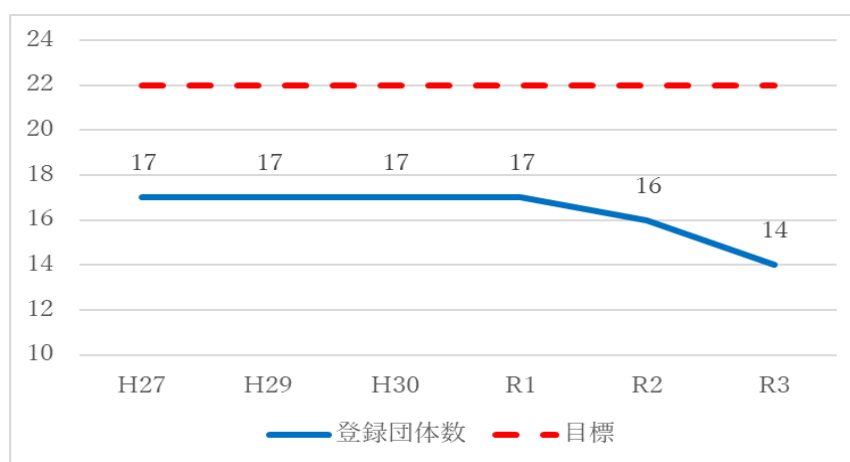
【推進状況】

<計画推進の指標>

	指標名	計画策定時	現状値	目標値 (R3)
20	男女共同参画社会推進登録団体数	17 団体 (2015 年)	14 団体	22 団体

<指標 20 の推進状況>

計画策定時 (H27)	平成 29 年度	平成 30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
17 団体	17 団体	17 団体	17 団体	16 団体	14 団体

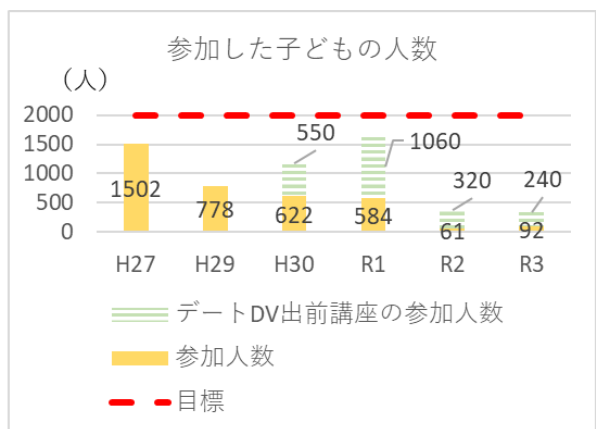
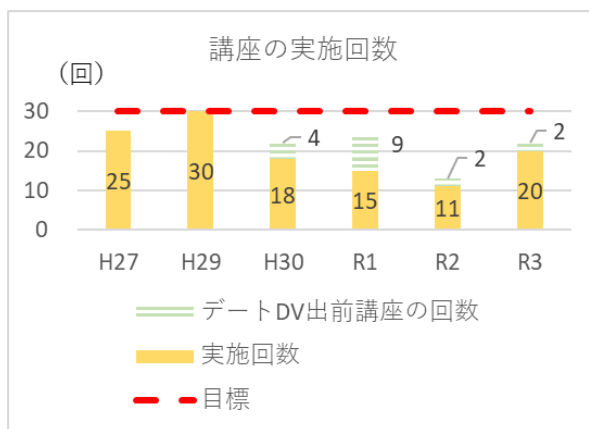


<計画推進の指標>

	指標名	計画策定時	現状値	目標値 (H28)
21	男女共同参画に関する講座の実施回数と事業に参加した子どもの人数	25回/年、 1,502人 (2015年)	20回/92人 デートDV入れたら (22回/332人)	30回/年、2,000人

<指標 21 の推進状況>

計画策定時 (H27)	平成 29 年度	平成 30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
25回/年、 1,502人	30回/年 778人	18回/622人 デートDV入れたら (22回/1172人)	15回/584人 デートDV入れたら (24回/1644人)	11回/61人 デートDV入れたら (13回/381人)	20回/92人 デートDV入れたら (22回/332人)

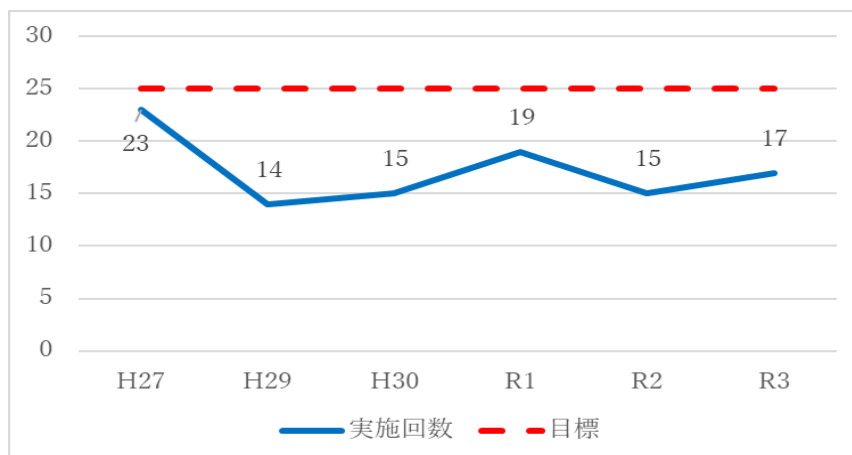


<計画推進の指標>

	指標名	計画策定時	現状値	目標値 (H28)
22	再就職セミナーや女性のためのスキルアップ講座の実施回数	23回/年 (2015年)	17回	25回/年

<指標 22 の推進状況>

計画策定時 (H27)	平成 29 年度	平成 30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
23回/年	14回	15回	19回	15回	17回



<計画推進の指標>

	指標名	計画策定時	現状値	目標値 (H28)
23	男性の生活能力向上のための講座 や事業の実施回数と参加人数	351 回/年、 2,561 人 (2015 年)	167 回/907 人	390 回/年、2,800 人

<指標 23 の推進状況>

計画策定時 (H27)	平成 29 年度	平成 30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
351 回/年、 2,561 人	375 回/年 1,790 人	390 回/年 1,388 人	313 回/年 1573 人	177 回/年 828 人	167 回/907 人

